



広報

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和57年4月20日発行No.217

とね

町勢	昭和57.4.1現在
総人口	18,079人 (370人増)
男	8,962人 (183人増)
女	9,117人 (187人増)
世帯数	4,534世帯 (94世帯増)
	()内は前月比



利根町保健センター竣工

昨年秋から建設中でありました利根町保健センターが、このほどめでたく完成し、四月十日竣工式が行われました。当センターでは、健康相談、健康教育、健康診断などの保健サービスを総合的に行うとともに、町民の皆さんの自主的な健康づくりにお役立ていただけるよう体力測定器具やトレーニング器具等を備えております。皆様のご活用をお願いいたします。

概要

- 所在地 利根町大字布川二九六八
- 敷地面積 二、二五七・六八平方メートル
- 建物面積 七〇〇平方メートル(一階四八四平方メートル、二階二二六平方メートル)
- 総事業費 一億一千五百万円
- 施設案内 事務室、検診待合室、健康相談室、母子保健指導室、検診室、健康増進室、研究室、調理実習室
- 電話 六五六一、六五六二 (環境衛生課)

▲ 利根町保健センターの全景

実と生活環境の整備を柱に！

一般会計予算 25億5千万円
 特別会計予算 13億2千万円
 (企業会計含む)
 7千万円

学校用地の購入と 町道六号線を整備

利根町長 鈴木嘉昌



昭和五十七年度の予算につきましては、議会の御理解により三月十九日可決成立いたしました。

私の基本的考えを町民各位に御理解いただくために、今年度の予算編成方針を述べたいと思います。

昭和五十七年度 予算編成方針

方針

昭和五十六年は利根町にとって四十年來の水害という大きな災害を受け、精神的にも経済的にも多大な影響を残した。また、国・世界の困難な政治経済の動きが町の行政に反映

した、きわめてきびしい年でありました。

国においては「増税なき財政再建」を強力に推進するため、第二次臨時行政調査会の第一次答申を尊重しつつ、五十七年度予算においてゼロ・シーリングを基調とした徹底的な歳出削減等を行おうとしています。しかも、それらは地方自治体にしわよせさせられる状況の中で住民の要請を的確にとらえ、機動的・弾力的な運営をし、住民福祉の充実をはかり、「水と緑の人情こまやかな町」をさらに住みよくするよう五十七年度の子算の編成を行う。

一、行政改革に対応し、事業の緊急度・効果等の検討を行ったうえで事業の選択をする。

二、教育施設の整備・充実
 三、農政に対する積極的な指導

四、生活環境の改善・整備
 五、保健業務を発展・充実さ

せ、より健康な明るい町にするための基盤をつくる。

六、社会教育と福祉の充実

七、特別会計は収支の均衡をはかり、原則として独立採算を基本とする。

八、公営企業会計は公営企業の原則をふまえ、経営の合理化、経費の節減をはかりながら、五十八年度県水受水のための事業を行い、積極的に水不足に対応する。

九、第二次臨時行政調査会の答申に対応するため、各種負担金・補助金については全て見直しのうえ決定する。

以上のような方針に従い、予算の編成をしたのでありますが、その中で本年度の重点的な事業は次のとおりであります。

一、布川第二小学校（仮称）の敷地の購入
 二、保健センター竣工に伴って、きめ細かい保健業務を実行し、町民一人ひとりの健康を守り、健康な町づくりの基にする。

三、社会教育面では、民俗資料館の整備・充実を図り、町の歴史を通じて郷土愛をはぐくむよう指導する。

四、町道六号線（早尾台から布川への横断道路）及び、

浄化センター外縁の外周道路を今年度中に整備する。

五、環境整備事業については、福木地区の公共下水道を整備し、押戸地区の公共下水道は五十七年度中に着工するよう努力する。

六、水道事業については、五十七年度以降の生活用水の水不足対策として、利根川の水二千五百五十七トンが配分されたので、本年度は、その水を受けるため一億六千万円で施設の拡張を行う。七、県立高校の敷地整備及び校舎の建築を行う。（五十八年四月開校予定）

その他区長会、町政モニター、町政懇談会、及び町長相談日等における皆様方の要望につきましては、事業の緊急度、効果投資等を勘案の上、要望の選択をして着工に移しております。

行政改革の中での予算の編成でありますので、財源難の中、投資による波及効果を考慮し、町民各位の御期待に添うよう努力いたしたいと思っております。

町民各位の御指導と御鞭撻を賜り、夢のある町づくりにご協力をお願いいたします。



▲ 昭和57年度利根町議会定例会

昭和57年度利根町一般会計予算

歳 入	予 算 額 (千 円)	対 前 年 伸 び 率 (%)
1. 町 税	567,458	32.4
2. 地 方 譲 与 税	41,500	11.9
3. 自 動 車 取 得 税 交 付 税	23,900	5.8
4. 地 方 交 付 税	1,096,358	18.2
5. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	700	40.0
6. 分 担 金 及 び 負 担 金	26,563	21.4
7. 使 用 料 及 び 手 数 料	3,647	△ 23.9
8. 国 庫 支 出 金	237,799	△ 1.8
9. 県 支 出 金	109,033	△ 24.2
10. 財 産 収 入	4,186	△ 26.6
11. 寄 附 金	1	0
12. 繰 越 金	20,000	0
13. 諸 収 入	44,703	0.7
14. 町 債	373,700	407.1
歳 入 合 計	2,549,548	24.3

歳 出	予 算 額 (千 円)	対 前 年 伸 び 率 (%)
1. 議 会 費	71,976	1.3
2. 総 務 費	907,662	142.2
3. 民 生 費	249,080	7.7
4. 衛 生 費	150,916	△ 42.5
5. 農 林 水 産 業 費	127,050	4.6
6. 商 工 費	5,138	27.0
7. 土 木 費	372,005	35.9
8. 消 防 費	137,354	21.4
9. 教 育 費	358,509	△ 21.1
10. 公 債 費	164,858	18.3
11. 予 備 費	5,000	0
歳 出 合 計	2,549,548	24.3

教育施設の充

57年度 予算総額 38億

新年度予算可決成立

昭和五十七年第一回定例会

昭和五十七年第一回議定例会は、三月八日午前十時役場の会議室に招集され、昭和五十七年度の一般会計予算・特別会計予算、その他条例の改正等三十件の議案の審議が行われました。

会期は三月十九日までの十二日間で、本会議をはじめ、休会の日にも各常任委員会等それぞれの分野で慎重な審議が行われた結果、提出された

議案はすべて原案どおり可決（同意）されました。

また、通告制による一般質問も行われ、五人の議員が、水害対策問題、福祉問題、教育施設問題等々活発な質問を行い、町長はじめ関係主管課長がそれぞれ答弁しました。

なお、請願については四件が採択、二件が不採択となりました。

議会の概要は後記のとおり

です。

はじめに、新年度予算についてお知らせします。

今年度の一般会計予算は、二十五億四千九百五十四万八千円で、前年度当初予算に比べ四億九千八百五十六万五千円増加となり、伸び率は二十四・三パーセントとなっています。

一方、特別会計（企業会計を含む）は、下水道、国保、水道を合わせ、十三億二千六百三十一万四千円で、前年度に比べ一億四千七百九十四万円減少し、十パーセントの減となっています。

各会計を合わせた総予算の規模は、三十八億七千五百八十六万二千円で、前年度に比べ三億五千六十二万五千円増加し、九・九パーセントの伸びとなりました。

負担するお金と還元されるお金

今年度の一般会計予算について、町民ひとり当たりが負担する額と還元される額をみてみると、町税のひとり当たり負担額は三万一千円で、これに対して皆さんに還元する額は、ひとり当たり十四万一千円となります。

にみる 方向

清掃費 93,372千円
 塵芥処理に要する経費、し尿投入
 入料、衛生組合負担金などが計上
 されています。

農林水産業費

127,050千円

農業委員の報酬、医薬材料費、
 優良種苗導入資金の貸付金、地籍
 調査費、水田利用再編対策事業協
 力者奨励補助金、農業災害経営資
 金利子補給金等各種団体への補助
 金、負担金などが計上されていま
 す。

商工費

5,138千円

町商工会や消費生活友の会等へ
 の補助金、負担金などが計上され
 ています。

土木費

総額 372,005千円

道路橋梁費 313,371千円
 道路台帳整備委託料、町道6号
 線外14路線の新設・拡幅・舗装の
 整備、道路用地買収費、町道6号
 線学校橋架設工事費、各種団体へ
 の負担金などが計上されています。

都市計画費 58,634千円

都市計画審議会委員報酬、利根
 緑地便所新設工事、公園用具格納
 庫設置用地代、下水道特別会計へ
 の繰出金が計上されています。

消防費

137,354千円

消防団員の報酬、貯水槽の新設
 機具庫の改築、小型動力ポンプ積
 載車・消防ポンプ自動車等の購入
 費、広域消防負担金などが計上さ
 れています。

教育費

総額 358,509千円

教育総務費 47,536千円
 教育委員の報酬、児童・生徒・
 教職員に対する各種検査委託料、
 各種団体に対する補助金、負担金

などが計上されています。

小学校費 156,449千円
 校医への報酬、教材・備品の購
 入費、校舎維持管理費、各種補助
 金、負担金などが計上されていま
 す。

中学校費 67,909千円
 校医への報酬、校舎維持管理費、
 教材・備品の購入費、各種補助金、
 負担金などが計上されています。

社会教育費 82,303千円
 公民館長・各種委員等の報酬、
 公民館グラウンド整備、各種講座開
 催時の講師謝礼、資料館の附帯機
 械設備・展示設計製作工事費、郷
 土誌編さん・文化財保護に必要な
 経費、各種団体への補助金などが
 計上されています。

保健体育費 4,312千円
 体育指導員への報酬、町民運動
 会等各種スポーツ大会開催費、各
 種補助金、負担金などが計上され
 ています。

公債費

164,858千円

財源の一部として借入れた金額
 の返済金及び利子などが計上され
 ています。

下水道事業予算

五億一千九百三十六万円

また、施設勘定については、六千六百
 五万一千円で、前年度より二十五・五割
 の増額となり、歳入は、診療収入四千百
 六十六万円と、一般会計からの繰入金一
 千七百四十四万六千円が主なものです。
 歳出については、医薬品費一千三百四
 十二万四千円、X線テレビ装置等の機械
 器具購入費九百二十三万円などが主な
 のです。

また、施設勘定については、六千六百
 五万一千円で、前年度より二十五・五割
 の増額となり、歳入は、診療収入四千百
 六十六万円と、一般会計からの繰入金一
 千七百四十四万六千円が主なものです。
 歳出については、医薬品費一千三百四
 十二万四千円、X線テレビ装置等の機械
 器具購入費九百二十三万円などが主な
 のです。

また、施設勘定については、六千六百
 五万一千円で、前年度より二十五・五割
 の増額となり、歳入は、診療収入四千百
 六十六万円と、一般会計からの繰入金一
 千七百四十四万六千円が主なものです。
 歳出については、医薬品費一千三百四
 十二万四千円、X線テレビ装置等の機械
 器具購入費九百二十三万円などが主な
 のです。

国民健康保険予算

四億九千五百二十万四千円

国民健康保険特別会計の本年度予算は、
 四億九千五百二十万四千円で、前年度よ
 り十三・三割（五千八百八十八千円）の
 増額となっています。
 事業勘定については、四億三千四百五
 十五万三千円で、前年度より十一・八割
 の増額となり、歳入は、国民健康保険税
 一億七千七百七十五万九千円、国庫支出
 金二億二千七百七十万円が主なものです。
 歳出は、保険給付費が三億九千二百五
 十八万八千円で、支出総額の九〇割を占
 めています。これを項目別にみると、療
 養諸費三億五千五百二十三万七千円、高
 額療養諸費二千九百七十七万五千円、助
 産諸費五百万円、葬祭諸費二百万円など
 となっています。

国民健康保険特別会計予算
 四億九千五百二十万四千円

一般会計 25億 4954万円

新年度の利根町の

議 会 費

71,976千円

議員報酬、議会だより発行、会議録作成及び各種補助金、負担金などが計上されています。

総 務 費

総額 907,662千円

総務管理費 801,134千円
区長・各種委員の報酬、給与事務電算委託料、防犯灯の設置及び補修、広報発行、学校用地購入、公用車購入、カーブミラー及びガードレール設置等に要する費用、高校誘致に伴う換地委託料及び外周道路用地買収・新設工事費、庁内維持管理費、各種団体に対する補助金及び県民交通災害共済掛金などの負担金が計上されています。

徴税費 65,074千円
各種委員の報酬、町税前納報奨金、町民税・固定資産税等の電算

委託料、納税組合等への補助金、負担金などが計上されています。

戸籍住民登録費 27,616千円
住民基本台帳電算委託料や電子複写機借上料、各種負担金などが計上されています。

選挙費 10,851千円
選挙管理委員の報酬、例月・定時選挙電算委託料、県議会議員・農業委員選挙に要する費用などが計上されています。

統計調査費 2,701千円
各種調査員の報酬、その他各統計調査に必要な経費が計上されています。

監査委員費 286千円
監査委員が財務に関する監査を行うために必要な経費等が計上されています。

民 生 費

総額 249,080千円

社会福祉費 142,368千円
各種委員の報酬、バス購入費
老人健康診査精密検査、ねたきり老人慰問、ひとり暮らし老人愛の定期便、乳児・母子家庭・重度心身障害者・老人・幼児・父子家庭医療給付費、国民年金の電算委託料、国保特別会計への繰出金、老人クラブ・納税組合等への補助金、負担金などが計上されています。

児童福祉費 106,712千円
各種委員の報酬、保育所委託料、児童手当・在宅母子福祉手当の支給、子供会育成会等への負担金などが計上されています。

衛 生 費

総額 150,916千円

保健衛生費 57,544千円
結核・循環器・子宮がん・胃等の検査委託料、稲北地方病舎組合等各種団体への補助金・負担金が計上されています。

水道事業会計予算

本年度の給水戸数は四、六〇〇戸、年間総給水量一、三三一、二九二立方メートル、一日平均給水量三、六七五立方メートルを予定し、収益的収入及び支出の予定額は一億三千四百五十万円と定められました。
また、資本的収入及び支出については、収入は一億二千七十万円。支出は一億八千三百万円なので、収入額が支出額に對して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、減債積立金で補てんされます。

副議長に本谷昌夫氏

利根町議会副議長矢口寿男氏の死去に伴う副議長の選任は、三月十一日の本会議で投票による選挙が行われた結果、本谷昌夫氏が副議長に決定しました。

なお、各常任委員会の人員の均衡を保つため、佐々木民三議長が、総務常任委員会から産業建設常任委員会に異動となりました。

一般会計予算の主な歳入

一般会計予算の歳入は、グラフが示すとおり自主財源が26.2%で、主なものは町税(22.3%)、諸収入(1.8%)などです。また、依存財源は73.8%を占め、主なものは地方交付税(43.0%)、町債(14.7%)、国庫支出金(9.3%)、県支出金(4.3%)となっています。

《町 税》

町民税、固定資産税など直接税が513,950千円、たばこ消費税、電気税などの間接税が60,368千円です。

《諸 収 入》

町預金利子、貸付金元利収入、ゴミ袋売捌手数料等の諸収入44,703千円です。

《地方交付税》

所得税、法人税、酒税の国税三税のうちの一部が地方公共団体に対して再配分されるものです。今年度は1,096,358千円です。

《町 債》

町がある事業を行う場合、多額の資金を要するので、その一部を財源として借入れするものです。学校用地買収事業に対するもの37,700千円です。

《国庫支出金》

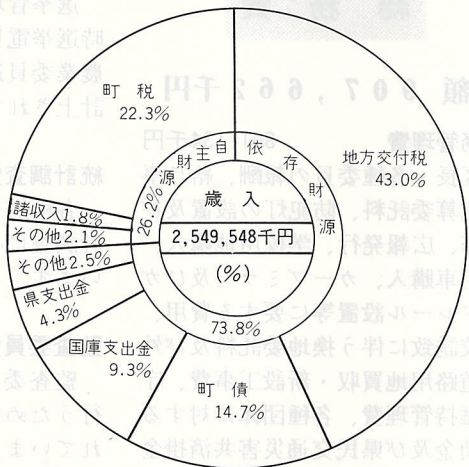
町が行う特定の事業、または国の委託事務に対してその一部を国から交付されるもので、老人医療費

保育所措置費、児童手当支給など民生費に対するもの80,545千円、義務教育費、学校用地買収など、教育費に対するもの2,523千円、道路改良など土木費に対するもの90,650千円、農林水産費に対するもの5,429千円、消防費に対するもの5,659千円の合計237,799千円です。

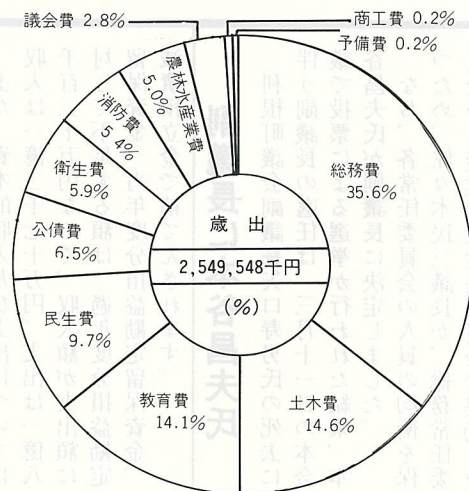
《県支出金》

町が行う特定の事業、または県の委託事務に対して、その一部を県から交付されるもので、民生費に対するもの21,762千円、土木費に対するもの55,315千円、総務費に対するもの16,290千円、衛生費に対するもの3,128千円、農林水産業費に対するもの11,800千円など合計109,033千円です。

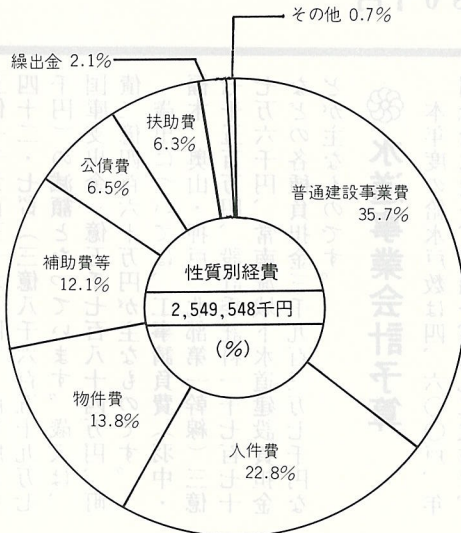
〈歳入の状況〉



〈歳出の状況〉



〈性質別経費の状況〉



利根町役場機構図

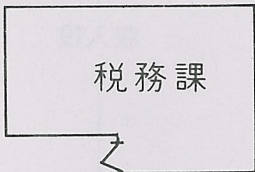
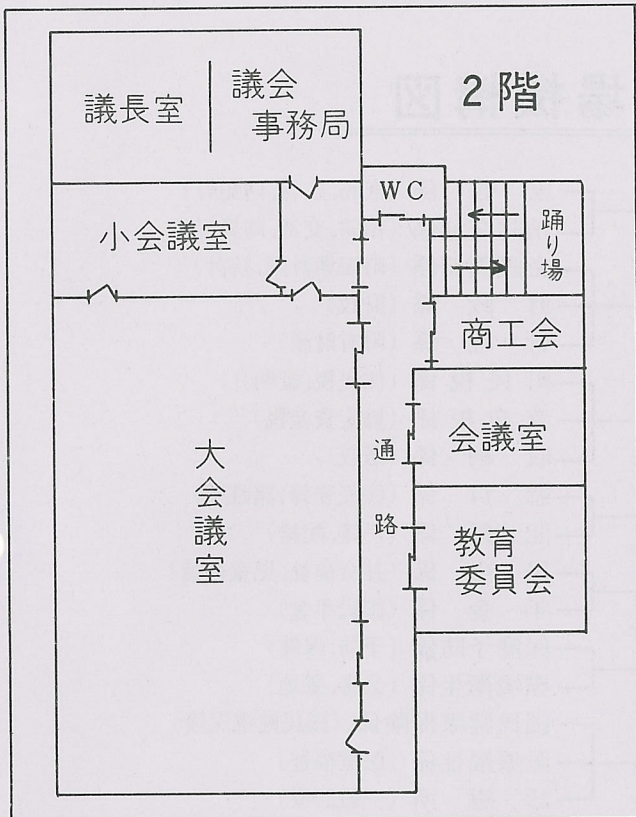


庁舎内の配置が 変わりました

業務の多様化により、新しい課（福祉年金課、環境衛生課、医療保険課）が設置されたため、庁舎内の配置が図のように変わりました。

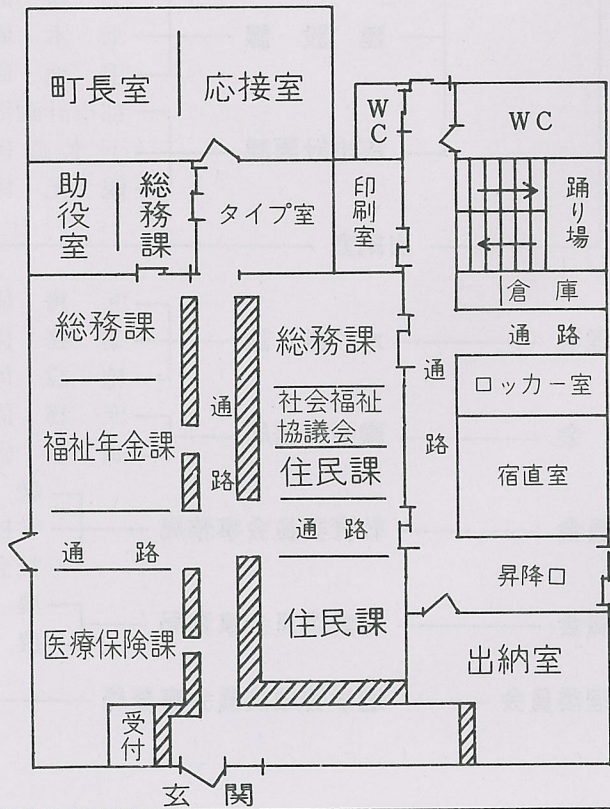
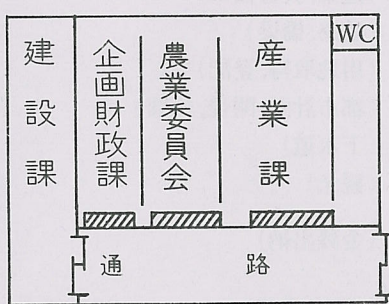
環境衛生課については、保健センターで業務を行っていますのでお知らせします。

なお、車で役場に来庁される方は、専用駐車場（土井商店裏）をご利用ください。緊急自動車等の出動の妨げとなりますので、玄関前及び役場前の道路には駐車しないようお願いいたします。



プレハブ棟

1階 (1st Floor)



- 凡例
- カウンター
 - 引き戸
 - ドア



公民館ニュース

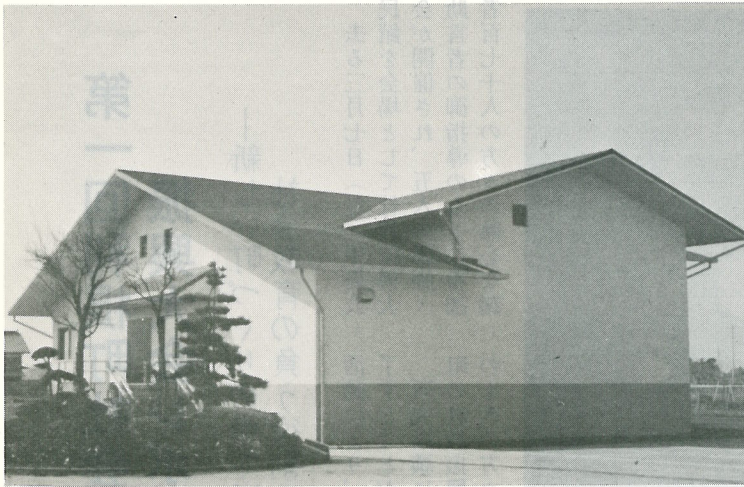
利根町中央公民館

☎ 三二六三

利根町歴史民俗資料館竣工

待望の利根町歴史民俗資料館が、その落着いたスマートな外観を竣工させました。三十一・〇六平方メートルの平屋建てで云つてみればミニ博物館ですが機能的には近隣にない完備したものです。

文化庁の指導で今すぐ開館は出来ません。あと六ヶ月間の館内の湿気をぬき、その間に展示や文書、物件の保管の仕事を進めて十一月の『文化の日』の開館の日へと準備を進めることとなります。



▲ この程竣工した利根町歴史民俗資料館開館は11月の予定です。

五十二年最初の企画がなされてから四年の歳月が流れました。この間この事業を進められた行政の方々、議会の方々をはじめ多くの資料をよせられ影のお力添えをいただいた町民の方々に深く感謝申し上げます。

「公民館」56年度利用状況

町民の増加につれて公民館の利用度も増加していますが利用者のご要望にこたえるべく、量質にわたり施策上の努力を続けています。五十六年度の利用状況につきまして、その概要をお知らせします。

- (1)年間利用者総数 中央公民館 二〇、七一五人 文分館 一一、三七七人
- (2)年間利用日数 三〇二日
- (3)一日平均利用者数 中央公民館 六九人 文分館 四一人
- (4)利用者の多かつた月

中公 十一月二、六九〇人
文 二月一、二〇二人

(5)利用者の少なかった月
中公 一月一、三七一人
文 八月 八二二人

(6)曜日別に見た利用度
最高④ 三、三七五人
最低⑥ 八四四人

※ 文分館・年間
(7)利用内容(中央公民館)

- 講座・学級等 一三%
- 研究・協議会等 五%
- 一般会合等 三九%
- 団体・グループ 一八%
- 個人・その他 二五%

(8)青少年利用(中央公民館)

- 三、四七四人 一七%
- (9)図書室利用(中央公民館)

- (年間)二、一〇〇冊
- 五、八二〇冊

各項目にわたり、改善・拡充すべきことが多々あるように思われます。

今年度は、歴史民俗資料館

の竣工・開館も予定されていますが、青少年を含めて、全

住民の方々の生活学習の場としてふさわしいあり方を共々

求めつけてまいりましょう。公民館に対するご希望、提

案等がございましたら遠慮なく、どんな小さな事でもご相談下さい。皆さんの為の公民館ですご一緒に考えましょう。

募集してまます

★ コーラス・クラブ

○練習日：毎週金曜日

午前十時～十二時

○場所：中央公民館大ホール

○指導：中西 良子さん

○申込み問合せは

中里 恵美子 ☎三六三九

までお願いします。

★ ママさんバレエ

— 布川チーム —

●練習日と場所

毎週水曜日：布川小体育館

土曜日：利根中体育館

●時間：午後八時～十時まで

●申込み問合せは

杉野 志げ子 ☎二二二二

白鷺、フレッシュタウンの

各チームが独立しましたので

布川チームの会員を募集しま

す。思いきり汗を流した後は

爽快な気分です。みなさんのおいでを待っています。

★ おねがい

利用者の皆さまのご協力により本の貸し出し、返却もスムーズに行われるようになりましたがまだ返却日を過ぎて

数週間という方もいます。

蔵書の数も少ないので期日

内に返却して下さいようにお

ねがいます。

第一回利根町社会教育 振興大会レポルト

—新しい町づくりの中で
社会教育の負う役割を考える—

去る三月七日(日)中央公民館を会場として社教振興大会が開催され、五人の講師・助言者の御指導のもとに参加者百七十人の方々の熱心な諸



▲社会教育振興大会全体会
3月7日、中央公民館講堂にて

われしました。
○社会教育関係者
鈴木 嘉昌 杉野八重子
長島 平衛 香取 利夫

○社会教育団体
大津 きく(婦人会)

浅野 栄一(育成会)

鈴木 重雄(文化協会)

本谷 輝雄(体育協会)

五十嵐くに(食改推進員)

○行政
小島 栄一郎(前町長)

の各氏です。

長い間の御尽力に対して、心から感謝申し上げますと共に今後よろしく御援助の程お願い致します。

次に研究協議に入り、講師・助言者の紹介ののち四分科会にわかれて学習討議がおこなわれ、その報告・まとめが全体会でなされました。

おわりに、アトラクションとして「民話かたり劇」が演ぜられました。

以下、学習討議のまとめのあらましをお知らせします。

(1) 第一分科会(青少年育成)

講師 元県教育次長

塚越喜一郎先生

少年非行の低年齢化と女生徒の非行の増加の傾向がみられる。—学校生活とのかかわりで見るとクラブ活動や勉学

ばなれ(七十パーセントをしめる)の者のなかに多くみられる。

従って、対策・対応を学校のみにかかせないで、社教諸団体による地域ぐるみの活動や、スクールボランティアとしての形で、協力しやすいところからみんなで手をつけるのが望ましい。

(2) 第二分科会(家庭教育)

講師 文部省婦人課長

志熊敦子先生

婦人の地位の変化・向上を自覚し、その為の努力が必要である。即ち近代化↓課題の多様化↓国際化への対応に自的にとりくんでほしい。

家庭教育の充実の為の婦人の学習の時代でもある。その課題として次の事項が考えられる。

○出産・育児を中心とした生活周期の変化と高齢化社会
○自覚的などりくみと共に夫の理解協力の問題
○子供の個性の育成と親の個性の変化との関係

○ふるさと・ふるきもの見直しの問題

(3) 第三分科会(学校と社教)

講師 元国立社研所長

湯上二郎先生

学校と社教の相互補完について相互に必然性を感じながら旧来の教育観を脱けきれないでいる。(相互学習会) 合意点にもとづき、出来るところからとりかかること。親自身が環境の変化の予想をし現実を把握して子供らに何をしてやれるか考えよう。高齢者から学ぶべきことがらも考えよう。

指導者自身の反省も。

(4) 第四分科会(町づくり)

講師 毎日新聞編集委員

二宮徳一先生

他の都市と同じく都市化の問題をもっている。功利的・主体性の不足・原理の横行等無責任感覚のひずみがみられる。

コミュニティづくりとは何か—その方策のなかで社会教育の役割を考えねばならぬ。そのためのプランニングセンターとしての、社会教育関係の施設及び担当者の責務は重大である。

※各分科会・全体会・民話

かたり劇の様子を収録した録音・録画各テープが

中央公民館にあります。

貸出し致しますので、御

利用ください。

その他の主な議案

昭和56年度一般会計予算

二十五億一千五百三十九万三千円に

◎一般会計予算を補正

昭和五十六年度利根町一般会計予算に五千七百九十九万七千円を追加し、予算総額が二十五億一千五百三十九万三千円になりました。

◎課設置条例を改正

宅地造成に伴い住民人口も増加し、住民の要望も複雑多岐になり行政需要も増大して参りました。住民の要望を適格に行政的に事務処理できる

よう、行政事務改善促進委員会において審議しておりましたところ答申がありましたので、一部課の名称及び分掌事務について改正するものです。詳しくは、(7)ページの役場機構図参照。

◎社会教育指導員の報酬(月額)を改正

社会教育指導員

五四、〇〇〇円

(改正前五一、〇〇〇円)

◎利根町庁舎建設資金及び敷

地購入基金条例を制定 この件は、利根町庁舎建設費として資金を計画的に確保するために条例を制定したものです。

◎利根町教育施設建設資金及び敷地購入基金条例を制定

この件は、利根町の教育施設の充実と完備を目的として計画的に資金を確保して事業費の財源にあてるため条例を制定したものです。

◎利根町災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付に関する条例を制定

暴風・洪水等の自然災害に ついては、不幸にして被害を受け被災者になつても以前は何の恩恵もなく、その家庭は悲惨な生活をおくる状況であります。

そこで、被災者の生活立ち直しの一助に資するため、この条例を制定したものです。

◎利根町医療福祉費支給に関

する条例を一部改正

この件は、今日福祉事業の中からその対策がとり残されている父子家庭について、当町ではその苦悩に報いるため手当を支給していますが、さらに今般条例を制定し、医療無料化を図り、福祉の一環として、これら家庭の生活援護に努めるために条例を一部改正したものです。

◎利根町在宅母子福祉手当支給に関する条例を一部改正

在宅母子福祉手当は、児童扶養手当受給対象者となつていますが扶養義務者が公的年金等を受給しているため、その子が何の手当も支給されずきのどくな家庭を対象として制定されています。今回支給金の増額(五千円を一万円に)をはかり、福祉の一環としてこれら家庭の援護に努めるため、条例を一部改正したものです。

◎利根町保健センター設置及び管理に関する条例を制定

この件は、利根町保健センターの竣工に伴い、町民の健康保持及び増進、並びに町民の福祉の増進と生活の向上を図ることを目的に、円滑な管理運用をするため条例を制定

したものです。

◎助産費及び葬祭費の支給額を改正

国民健康保険に加入されている方が出産した場合、助産費が八万円から十万円に増額されました。また、被保険者が死亡された場合、葬祭費が三万円から四万円に改められました。

※いずれも五十七年四月一日から施行。

◎利根町都市公園の設置及び管理に関する条例を一部改正

この件は、運動公園の利用者の増加に伴いなるべく多くの人が利用できるよう、半日及び一日単位の借用を廃止し、すべて時間単位で貸出すようにしたものです。料金は、町内の者に対しては、野球場・テニスコート等一面につき一時間当たり百円です。

また、上曽根運動公園が四月からテニスコート三面を設け開園されるため、有料公園施設とするものです。

◎道路工事請負契約を変更

この件は、現在改良を進めている町道六号線は舗装が完了するまでに期間がかかるた

め、通学児童及び付近住民の利便を図り、防塵処理(仮舗装)を五〇〇メートル追加施工するもので、変更額は百九十万円で、請負総額は三千四百四十万円となりました。

◎公共下水道工事請負契約を変更

次の三工事について、工事請負契約が変更されました。

- 一、56国補公下第一一号 総額 三億四千二百四十一万三千円
- 二、56国補公下第一一三号 総額 九千六百七十七万七千円
- 三、56単町公下第一一二号 総額 七千九十八万一千円

国補公下第一一号工事については、サイホンの基礎部で地下水が多いため、石炭基礎を砕石基礎に変えたこと及び二軒分の取りこみを追加したため、五十一万三千円が増額されました。国補公下第一一三号工事については、残土運搬距離が五キロメートルから一キロメートルになったため、工事延長を三・八メートル延長し、二十二万三千円を減額したものです。

また、単町分については、仮設土留工を当初木矢板の設

(10) ページへつづく

計といたしましたが、下部に水分を多く含む砂層があり、工事延長一、二六三メートルのうち六五四・五メートルを簡易鋼矢板に変更したため、一千二百四十八万一千円を追加したものです。

◎監査委員に大塚志野夫氏を選任

利根町監査委員に、大字大房一三四番地にお住まいの大塚志野夫氏(六十二歳)が選任されました。

◎固定資産評価審査委員に高須利男氏を選任

利根町固定資産評価審査委員会の委員に、大字立崎十八番地にお住まいの高須利男氏(五十八歳)が選任されました。

◎固定資産税及び都市計画税の第一期分は五月三十一日まで

昭和五十七年度については、固定資産税及び都市計画税評価基準年度にあたり、事務手続上従前の従覧期日「三月一日から三月二十日」までを「四月一日から四月二十日」に改め、また納期についても第一期分については「四月一日から四月三十日」までを、

「五月一日から五月三十一日」に改められました。

◎警察官幹部派出所設置に関する要望書を提出

この件は、議会議員から提案されたもので、「当町は宅地造成に伴う急激な人口の増加により目まぐるしい発展を遂げており、住民の安全確保のためにも、是非とも警察官幹部派出所を早急に設置し、警察官の増員を図られるよう強く要望する」旨、決議されました。

◎請願四件が採択される

「利根フレッシユタウン地内における住民の交通安全確保に関する請願」、「仮称利根町立布川第二小学校建設に関するための請願」、「日本農業再建・食糧自給率向上のための食糧自給率向上を求める請願」、「たばこ専売制度維持に関する請願」以上四件については各常任委員長から採択の旨報告があり、本会議でも採択になりました。

また、「利根町大字布川下屋敷地区及び同東前地区の用途地域指定替えに関する請願」及び「老人保健法案の廃案を求める意見書提出に関する請願」は不採択となりました。

利根町人事

業務の多様化により、一部課の名称及び分掌事務の改正が行われました。これに伴い、厚生課と保険衛生課が廃止され、新たに福祉年金課、医療保険課、環境衛生課が設置されました。

【退職】 三月三十一日

保険衛生課 成田 菊
(保健婦) 古谷芳四郎
水道課

保健衛生課

(清掃作業員) 石島 繁治
【昇任】 四月一日

・総務課 本橋 利夫
課長補佐 (庶務係長) 森杉 義一

消防交通係長 森杉 義一
(産業課主幹)

・出納室 石塚美知子
出納係長 (出納室主幹)

・企画財政課 高橋津弥子
課長補佐 (財政係長)

・税務課 青山 力
資産税係長 (税務課主幹)

・福祉年金課 飯塚 昭
課長補佐

民生係長 (医療福祉係長) 本谷 悦子
(教育委員会主幹)

・環境衛生課 片見 卓子
保健予防係長 (産業課主幹)

・産業課 小松 孝義
地籍係長 (産業課主幹)

・建設課 吉浜 昇一
課長補佐 (用地係長)

・都市計画課 山崎 すみ
都市計画係長 (住民課主幹)

・総務課 直井 雅勇
総務課 (産業課)

・福祉年金課 小松 淑江
小松 淑江 川上 叔春
鬼沢三千雄 蛸原 浩志
菅田 哲夫 青木 正道
(住民課)

・環境衛生課 野口 善男
池田 幸子
福田 茂 赤尾津政男
大津 善男 石川 禮一
香取 昭弘 斉藤 貞雄
宮本 二郎 石塚 茂

・環境衛生係長 大野 重信
(教育委員会社会教育係長)

・環境衛生課 村田 啓子
(保健婦) 関口 厚子
(用務員) 森杉 健一

・医療保険課 直江 弘樹
産業課 畑沢 伸良
建設課 中川 正巳
都市計画課 寺田 寛

・水道課(工手) 佐藤 宏

・環境衛生課 飯田 修
小貫 頼明

・産業課 石島 孝

・建設課 須藤 好純
(企画財政課)

・都市計画課 飯田美代子
(税務課)

・教育委員会 渡邊志津馬
(都市計画課)

・保健衛生課 染谷 邦子
(保険衛生課)

長島 平衛 豊島美津子
(厚生課)

加藤美智子 飯田 修

・保健衛生課 須藤 好純
(企画財政課)

・産業課 石島 孝
(保険衛生課)

・建設課 飯田美代子
(税務課)

・都市計画課 渡邊志津馬
(都市計画課)

・教育委員会 染谷 邦子
(保険衛生課)

・総務課 坂上 雅弘
出納室 石田 通夫

・企画財政課 市田 晃一
税務課 海老原 優

・住民課 蓮沼 伸一
住民課 蜂谷 忠義

・環境衛生課 村田 啓子
(保健婦) 関口 厚子
(用務員) 森杉 健一

・医療保険課 直江 弘樹
産業課 畑沢 伸良

・建設課 中川 正巳
都市計画課 寺田 寛

・水道課(工手) 佐藤 宏

新利根川に消えた 松木村と行徳村

利根町の歴史 ⑬

松木村と行徳村が利根町にあつたといつても知らない方が多いかと思われます。この二つの村は、寛文の頃、新利根川を切り開いた時なくなり

ました。新利根川の開鑿は、寛文元年（一六六一）十一月に関東郡代伊奈半左衛門忠克らの視察によって始められました。実際の工事は寛文三年九月から開始し、同六年正月に、布佐村と布川村の間に、峯合いで利根川が切られて完了しました。しかし、本流となつた新利根川は、夏から

秋にかけては水害、冬から春にかけては渇水し、結局はまたもとの流れに復されてい

まつて松木村に住んでいたという押付の鈴木茂さんの家で、代々語り継いでいるところによれば、新利根川の河川敷地になつた松木村や行徳村では、開鑿に反対し、菴旗などを立てて抗議したといひます。しかし、当時の幕府の権力は絶対的で、村ぐるみ移動していきま

減少ぶりをみてみましょう。工事以前の寛永十九年（一六四二）には行徳村は八十五斗五升、松木村は四十四石九斗五升二合でした。これが、工事後の元禄十五年（一七〇二）には、行徳村が三十石六斗一升、松木村が十石六斗四升三合になってい

ます。耕地を潰された村々には代替地が与えられました。宮本亀次郎さんが書いた「下利根川沿岸水利と水害予防」に、下曾根の巻島庄右衛門家の古文書が記録されています。この文書は残念ながら現在在所在がわかりません。それによれば、寛永四年三月二十七日、下曾根新田の潰れ地の替地として印藩郡笠神村に、潰れ地の倍の積りで新しい土地が与えられました。

当時下曾根新田には十二町四反余の土地があり、これに對し二十五町余りの原野をもらひ開発することになりました。この時の文書に、名主として権兵衛と孫右衛門、組頭に宇兵衛の名が出ています。このような形で、移住していきま

上水道漏水当番予定表 (5月分)

- 漏水等がありましたら、下記にご連絡ください。
- 開始時間は、平日は午後5時、土曜日は正午、日曜・祭日は午前8時半からで、終了時間はすべて午後10時です。
- 修理等をした場合の修理代は、直接工事店にお支払いください。

日	指定工事店名	電話番号
1	佐藤設備	7153
2	中川鑿泉	3827
3	(株)イトウ	4502
4	関新開発工業(株)	3521
5	(有)越中屋油店	2214, 2411
6	増川建設(株)	7157
7	(有)館野設備	6512
8	(有)利根興産	4488
9	泉隆建設(株)	2610
10	常総緑化(株)	4080, 2208
11	(株)セキグチ	3890, 2443
12	(有)成島設備	2424
13	地脇商店	3728
14	(有)大黒設備工業	7066
15	関東工業(株)	3315
16	(株)葵設備	6604
17	佐藤設備	7153
18	中川鑿泉	3827
19	(株)イトウ	4502
20	関新開発工業(株)	3521
21	(有)越中屋油店	2214, 2411
22	増川建設(株)	7157
23	(有)館野設備	6512
24	(有)利根興産	4488
25	泉隆建設(株)	2610
26	常総緑化(株)	4080, 2208
27	(株)セキグチ	3890, 2443
28	(有)成島設備	2424
29	地脇商店	3728
30	(有)大黒設備工業	7066
31	関東工業(株)	3315

「水は限りある
貴重な資源」です
大切に使いましょう

(町史編さん委員会)

農作業標準賃金のお知らせ

昭和57年の農作業臨時雇標準賃金と動力作業の標準賃金が決まりました。しかし、これはあくまでも標準であり最低賃金でも最高賃金でもありません。農家各位の目安として活用され農作業に支障のないよう御協力願います。

農業臨時雇賃金

作業別	賃金	備考
田植	7,000円	1日当り(賄付)
稲刈	6,000円	〃(賄付)

動力作業賃金(10a当り)

作業別	種別	賃金
水田耕起	耕うん機	3,600円
	トラクター	3,600円
代かき	耕うん機	6,000円
	トラクター	6,000円
田植	苗持ち	18,200円
	苗なし	7,000円
稲刈	バインダー	8,000円
	コンバイン	14,400円
畑耕起	耕うん機	3,600円
	トラクター	3,600円

乾そうもみすり(60kg当り)1,000円

利根町消防団幹部名簿

(昭和57年4月1日現在)

団本部			分団		
階級	氏名	電話番号	分団名	分団長氏名	電話番号
団長	星野 道雄	2005	第1分団	山崎 総一郎	2626
副団長	石井 澄勇	3930	第2分団	若泉 照男	3652
〃	蓮沼 進	4329	第3分団	山口 嘉嗣	3619
本部長	大野 毅	6185	第4分団	海老原幸一	2185
第1方面隊長	直井 一雄	昼3699 夜5474	第6分団	弓削 哲夫	2147
第2方面隊長	片岡 稔	5771	第7分団	池田 昌章	2082
本部員	上原 隆雄	3193	第8分団	河村 義一	2088
〃	秋元 邦雄	3916	第9分団	木村 重雄	4316
〃	花島 信義	2527	第10分団	河村 力	2218
〃	高野 征哉	2438	第11分団	加藤 貢	5435
〃	荒井 助	6194	第12分団	渡辺 一郎	6375
〃	清宮 昇	2445	第13分団	大野 幸夫	6274
〃	日渡 隆雄	2636	第14分団	岡野 澄雄	3497
〃	会田 瑞穂	2844	第15分団	若泉 豊	5776
〃	飯島 富雄	4318	第16分団	黒沢 耕一	2637
〃	武藤 則夫	3121	第17分団	溝口 泰男	3963
〃	木村 功	3591	第18分団	大越 栄光	4131
			第19分団	高橋 唯雄	4136
			第20分団	中島 茂	5877

※ 火災についての問合せは、竜ヶ崎消防署テレフォンサービスをご利用ください。 TEL 02976(4)0119

お知らせ

◎不用犬引き取り日

・日時 五月十日(月)

・日時 五月二十一日(金)

・場所 午前九時～正午まで

・場所 利根町保健センター

◎へら鮎釣りの友を募集

日本へら鮎釣研究会利根支部発足に伴い会員を募集中です。

連絡先 布川台鈴木まで

☎五三三五

◎ありがとう水害見舞金

昨年八月二十四日の小貝川決壊による水害に際し、見舞金をお寄せいただき、厚く御礼申し上げます。

見舞金をお寄せくださった方々の内、一部掲載漏れがありましたので、次のとおりお知らせいたします。敬称は略させていただきます。

○日本赤十字社茨城支部(一金八十八万二千八百八円)

○県内社会福祉協議会(一金十八万円)

○東京電力竜ヶ崎営業所

○ポリースカウト利根第一団
○水戸市社会福祉協議会
◎地震のときは、コンセントからプラグを抜きましょう

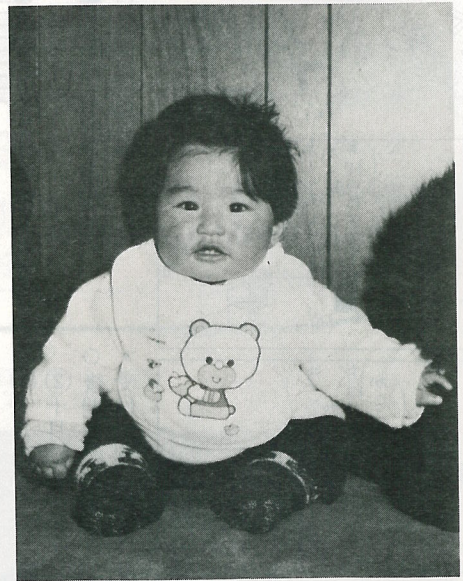
地震で怖いのは火災です。石油ストーブやガスコンロなどの火の用心のほか、電気アイロンやヘアードライヤー、電気こたつなどはコンセントからプラグを抜きましょう。

五月一日から七日まで憲法週間 憲法は明るい社会の道しるべ

愛の献血にご協力を!

実施月日	受付時間	場所
5月14日(金)	午前10時～午前11時	中央公民館
	午後1時30分～午後2時30分	役場

※初めて献血をされる方以外は、必ず献血手帳を御持参ください。



赤ちゃん紹介

理恵(りえ)ちゃん 8か月

利根町大字加納新田1364番地
山 中 明 さん 長女
利 子

誰にでもニコニコと笑顔でこたえる
理恵ちゃんは我家の人気者。
特にお兄ちゃんがあやすと
「ケラケラ……」うれしそう。

健康教室

こじれたかぜ——小児の肺炎

気管支肺炎

小児に最も多い肺炎で、一歳前後の子供に多く、ウイルスや細菌がのどより奥の気管支や肺に侵入しておこります。

高い熱の出ることが多く、せきはおまかく連続します。

吐いたりすることもあります。レントゲン写真では、次のマイコプラズマ肺炎のような、はつきりした影の見られないことがあります。

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマという微生

物が原因でおこります。症状はわりに軽い肺炎です。二、四年ごとに流行し、取手地区では一昨年あたりだいたい流行しました。

呼吸困難は少なく、子供は割合に元気ですが、レントゲンでははつきりした影がみられ、治療は影がなくなるまで二、四週間続ける必要があります。

膿胸

肺炎がこじれて、病変が胸膜に及びますと膿胸になります。一般にブドウ球菌による

肺炎からおこるものが多いようです。膿胸をおこしますとあとで肺の機能が悪くなりまので、早く発見して完全に治すことが大切です。

——一般的な注意——

かぜのような症状で発病する肺炎は、虚弱児や発育の悪い子供ではかえって症状が出にくく、軽く考えて失敗することがあります。六か月未満の乳幼児でも症状の出にくいことがあります。

一般的に子供がぐったりしたり、笑顔の見られないようなときは、恐い病気が多いので早く医師に相談してください。

(取手市医師会)

◎法律・人権相談所を開設

竜ヶ崎人権擁護委員協議会と法務局では、五月三日の「憲法記念日」を記念して、次のとおり相談所を開設いたします。無料ですのでお気軽にお

出かけください。
・利根町公会堂

五月十日(月)

・竜ヶ崎市民センター

五月二十一日(金)

※時間は、午前十時から午後

三時まで

◎第九回不用品交換会を開催

去る三月十四日(日)、公会堂で恒例の不用品交換会が開催されました。

いたずらに眠らせているもの、まだ使えるものなど「みんな物を生かして使う」ことを目的に始めたこの会も、今回で九回目を数えますが、今までになく人出が多く、この会が町の中に定着しつつあ

るのを感じました。

消費生活友の会では、「特設コーナー」、「手作りコーナー」、「野菜コーナー」の三つのコーナーを設け、生活に役立つ物を取りそろえて、皆さんに喜ばれました。なお、売上げの五分は、善意銀行に寄付していただきました。

(消費生活友の会)

◎光竜会

初心者油絵技法講座受講生募集!

五月の声とともに恒例第三回油絵講座開始の時期となりました。油絵を習ってみたい、またもつとバラエティーに富んだものを描きたいと思う方大歓迎です。

この講座は、静物・風景・抽象画の3つに分け、下絵の描き方(デッサン)から荒描き、そして細部の描き方まで絵を書く手順を教えます。期間は三か月間ですが、仲間と一緒に楽しく描き、そして無

事終了した方々には終了証書が手渡されます。

自分の時間を大切に、そして絵を自分のものにしてみませんか。絵を覚えたいと思う方連絡ください。

・時 五月から七月までの毎週土曜日

・所 中央公民館

・受講費 四千元

※詳しくは

☎二〇六七(鈴木) または ☎二六四七(大谷) まで

商工会だより

◆労働保険年度個別指導のお知らせ

労働保険年度更新の相談・指導を実施いたしますので、必ず出席の上手続きをすませてください。

○期日 四月二十四日から二十七日まで

○場所 中宿集会所

○指導者 社会保険労務士 森本 明治

○持参するもの

・五十六年四月から五十七年三月末日までの給料賃金額

・賃金等の報告用紙

・印鑑

・工事請負金額(年間)

※新規加入希望者の相談も受けます。

◆各種検定のご案内

○珠算検定試験

①六月六日(申込み四月八日～五月七日)

②十一月二十一日(申込み九月二十四日～十月二十二日)

③二月十三日(申込み二月十六日～一月十四日)

○簿記検定試験(商工会議所)

①六月十三日

②十一月二十一日

(申込みは試験日の一月前までに)

○英文タイピスト技能検定試験(商工会議所)

①六月六日

②十一月十四日

○和文タイピスト技能検定試験(商工会議所)

①七月四日

②十月十七日

○後期技能検定実施予定

○受付期間 十月八日～十月

・職種 農業機械整備・建築
大工・かわらぶき・型わ
く施工・鉄筋組立・石土
建築配管外二十五職種

◆新規青色申告者にお知らせ
五十七年分から青色申告をされた方を対象に、帳簿のつけ方について講習会を開催する計画です。ご希望の方は商工会へお電話ください。開催は五月上旬頃です。

◆異常乾燥注意報
ラジオやテレビの天気予報で「雨の確率××%」は気にしても、「異常乾燥注意報」はなにげなく聞きながしてしま

うものです。全国で秒読みに火災が発生しています。不慮の災害に備えて、あなたの財産を守る茨城県火災共済に加入しましょう。

安い掛金、早い支払い、掛金の割り戻し……。皆様の財産を有利に守ります。加入ご

希望の方はお知らせください。

◆経営改善資金融資申込受付

商工会に加入して一年過ぎますと、無担保・無保証人・

年利七・〇%(二月現在)の好条件の融資が受けられます。

・運転資金 二五〇万 三年

・設備資金 三五〇万 四年

◆環境衛生貸付

飲食店・喫茶店・食肉・食

鳥肉販売・理容業・美容業・

クリーニング業種の方は、環境衛生貸付取扱いとなります。

融資金申込希望の方は商工会へ。◆利根町商工会通常総会は五月下旬開催予定 (利根町商工会事務局)

矢口寿男副議長逝去



三月七日逝去された、故矢口寿男氏(六十三歳)の利根町議会葬が、三月九日午後二時から来見寺で執り行われました。

矢口氏は、専修大学卒業後利根町消防団幹部、穀物改良協会副会長、国保運営協議会委員などの要職を歴任し、昭和五十四年には町議会議員に初当選、新人ながら衆望を集め副議長に選任されました。

生前の氏の功績の数々をたたえとともに、謹んでごめい福をお祈り申し上げます。

四月は河川美化月間

四月は「河川美化月間」です。「生活の川」であり、「憩いの川」でもある河川を大切にしましょう。ゴミや空きかんを捨てるのは、やめましょう。

四月の納税

- 軽自動車税 全期
- 国民健康保険税 一期

君がやわ

宗 西村

